

県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」

(一般社団法人在宅療養ネットワーク内)

電話 087-813-0782

受付時間 月～金曜日 午前9時～午後5時



<https://raiseup.or.jp/>

←メールでの問い合わせはこちらの
相談フォームから

専門性の枠を超えた 総合的な支援

「ソダテル」は、相談員が県内各地に足を運び、関係者との対話を通して協力を呼び掛け、医療・教育・福祉など専門性の枠を超えた新たな支援のネットワークを構築します。本人・家族・支援者からの相談を地域に

つなぐほか、医療的ケア児らが安心して地域の中で過ごすことの重要性を多くの方に知ってもらうよう活動します。

「ソダテル」では、メールでの相談に24時間対応しています。メールの確認は受付時間内になります。近日中にお返事しますので、いつでも気軽に相談ください。

役立つ情報を
メールで配信
ソダテル
ねっと

ソダテルねっとでは、就園・就学・就労や在宅サービス

ス、医療機器、災害対策など、医療的ケアを必要とする方たちやその家族、支援者の役に立つ情報を月1回メールで配信しています。登録(無料)すれば、医療的ケア児の家族へのインタビュー記事などを見ることができず。ぜひご登録ください。

問い合わせ先
障害福祉課 ☎087(832)3292
香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」 検索

地域で育み、共に生きる社会に



県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」
センター長 英 早苗さん

医療的ケア児とその家族の多くは、誰にも打ち明けられず、どこに相談していいかわからないと悩んでいます。「ソダテル」は、医療・教育・福祉・子育てなど総合的に支援できる体制を整え、地域で見守り、育てていきたいと考えています。

オープンして1年、最初は保健師や医療関係者などの支援者の方からの相談が多かったですが、最近は家族から直接相談を受けることが増えました。医療を必要とする子どもに関わる全ての方の声を置き去りにせず、成長のどのタイミングにおいても一緒に考え、解決に向けてのサポートをしていきますので、お気軽に相談してください。



「ソダテル」の支援内容

① 総合的な相談窓口

医療的ケアを必要とする方やその家族の不安や悩みなどの相談を、メールで随時受け付けているほか、医療的ケアの可能な福祉サービスなどの情報を収集し、相談者に助言を行います。

② 支援者の人材育成

医療的ケア児等コーディネーターや支援者を養成するための研修のほか、フォローアップやスキルアップの研修を通じてセンターがバックアップします。また、一般向けの講演会や座談会も開催しています。

③ 地域での支援体制づくり

コーディネーターを活用し、地域で暮らす医療的ケア児の成長段階に応じた支援体制を県内各地で構築するとともに、関係機関との連携を強化していきます。



父親の佑亮さん

誰かに相談する 勇気を持って

日常の世話は父親の佑亮さんと協力して行っています。最近、経鼻経管栄養から胃ろうに切り替えたことで、本人と家族の負担も減少。花憐ちゃんの病状に対応してくれる特別支援学校へ転校する準備も進めています。

「今までは病気のことを誰かに話すことへの戸惑いや、見知らぬ人に預けることへの恐怖感があり、支援の話を断っていました。ただ、将来のことを考えると、さまざまな支援を利用することで、子どものためだけでなく自分のためにもなると思います」と佑亮さん。花憐ちゃん的生活環境が整ったら、デイサービスな

ども活用していく予定です。佑亮さんは今回の取材に対して「断る理由はありません。隠すことではないです。自分たちと同じ悩みを抱えている人は絶対にいます。誰かに相談する勇気を持ってほしい。県民の皆さんには、世の中には医療的ケアが必要な子どもがいて、懸命に生きていてほしいと思っています」と語ります。

「ソダテルは利用者が安心して相談できる場所。いろいろなサービスがあることを広く発信し、悩みを抱える家族に方向性を示す存在であってほしいですね」と佑亮さん。医療的ケア児とその家族が地域に見守られる、共に生きる明るい社会になることを願っています。



母親の知寛さん

利用者・支援者の思いを形に



「医療的ケア児とその家族、支援者全てが育ってほしい」という思いと、言いやすさ、覚えやすさを重視して考えました。ロゴは三日月をゆ

「ソダテル」の名称とロゴを作成した山根善与さんは、自身も生後間もなく脊髄性筋萎縮症を発症し、幼いころから医療的ケアを受けてきました。高松養護学校を卒業後、現在は企業のデザイナーとして在宅勤務をしています。センターの名称とロゴのデザインを依頼された山根さんは、

仕事が休みの日には「ソダテル」に顔を出し、友人やスタッフと楽しい時間を過ごしています。「スタッフ全員が優しく、アットホームな雰囲気が好きです。どんな相談でも一緒に考えてくれます。私の周りにも悩んでいる人がいるので、そんな人たちも気軽に相談できる窓口になってほしい」と期待しています。

りかごに見立て、家族や地域の愛情に包まれながら育っていく姿を、香川県から伸びていく双葉で表現しました」と、イメージがすぐに浮かんだそうです。



ソダテルをイメージした温かみのあるデザインに